

ケース4 地域とつながる

1 ねがい

地元のイベントに参加してみたい



2 相談

☐町内会・自治会 ☐イベントの主催者 ※日ごろの活動の様子を伝えましょう

3 対話

カレッジで学んだことを活かし、イベントに参加できないでしょうか

どんなことができますか 配慮することがあれば事前に教えてください

iPadを使ってお金の計算や、スイッチを使って挨拶ができます

地域の子どもたちが楽しめるお店を開くので、その担当をお願いします

4 実施

☐iPadに挨拶を録音しておき、お客が来たらスイッチを使って流しました
☐お店に来た子どもたちもスイッチで流れる挨拶に関心を持ったようです
☐iPadを使ってお金の計算は、時間がかかりましたがミスを出さずにしました

その他の例

地域の活動を取材して
動画を作ってみよう

公民館や地区センターで活動している
サークルグループにアプローチしてみよう

分身ロボットを使えば
遠隔操作で参加も
できるね



事例紹介

ネットワークの仲間が実際に取り組んできたことを紹介します

◆町内会のお祭りでフードパントリーの受付や、iPadを用いてくじ引き担当として参加しました
 (カレッジ生・家族) カレッジ生のできる方法で活動に参加でき、地域の居場所が増えました
 (町内会) 体調が心配でしたが、家族や支援員と一緒にしたのでこちらも安心して参加してもらう
 ことができました また、ぜひ参加してください

◆地域のマルシェに定期的に参加しカレッジ生が作った製品を販売して
 います
 (カレッジ生・家族) 自分で作ったものが売れると、次は何を作ろうかと
 楽しみにしています
 (主催者) いろいろな方が参加交流できるのが、このマルシェの自慢です



学ぶことは生きること

ユネスコ 成人教育国際会議
「学ぶ権利の宣言」(1985年)

学ぶ権利とは、
読み書く権利であり、
探求し分析する権利であり、
想像し創造する権利であり、
自分自身の世界を解し歴史を著する権利であり、
教育資源を手に入れ利用する権利であり、
個人や集団の技量を高める権利である。

学ぶ権利は、人類の生存のために欠くことのできない道具なのである。

それは基本的な権利の一つと見なされるべきである。学習という行為は、あらゆる教育活動の中核に位置づけられ、人類を、出来事に翻弄されている客体から自らの歴史を創造する主体へと変える。

出典:生涯学習辞典 増補版 日本生涯学習学会 編 東京書籍 一部抜粋

訪問カレッジとは

学校を卒業後、障がいや病気のために通所施設等の毎日の利用が難しい18歳以上の方のご自宅を学習支援員が訪問して、生涯学習を支援する「重度医療的ケア対象者の訪問型生涯学習支援」です

連絡先 重度障害者・生涯学習ネットワーク・事務局 担当 下川和洋
 NPO法人地域ケアさぼーと研究所内
 〒187-0043 東京都小平市学園東町1丁目22-6
 電話: 042-403-3229 FAX: 042-405-1779
 Email: ccsupport@icom.home.ne.jp



リーフレットのダウンロード

文部科学省 令和7年度
「他分野連携による新たな障害者の生涯学習のモデル・ネットワーク構築」委託事業

他分野連携による 生涯学習プログラム



私たちは 社会とつながり
学びの世界を広げ 深めることを希望します

誰もが生涯にわたって学び続けることができる社会を目指し
このリーフレットを作りました

重度障害者・生涯学習ネットワーク

ケース1 大学・大学生とつながる



1 ねがい

大学生と一緒に学びたい 交流したい

2 相談

□大学のボランティアセンター・地域交流部署 □医療系専門学校 □社会福祉協議会他
＊窓口になる先生を紹介してもらいます ＊日ごろの活動の様子を伝えましょう

3 対話

訪問カレッジの授業に参加してみませんか

学生はどんなことをすればよいのですか ボランティア保険は

授業に参加し、互いのことを知り合う機会になればうれしいです
ボランティア保険に加入します

希望する学生がいます 声をかけてみましょう

4 実施

□待ち合わせの日時、場所を確認 授業の流れやコミュニケーションについて打ち合わせをして、カレッジ生のお宅を訪問しました
□自己紹介でお互いの好きなことを伝えあうとすぐに親しくなれました
□カレッジ生は、学生の話に興味津々 学生は、学習支援員のサポートをしながら授業に参加しました
□授業の感想を伝えあい、挨拶をして帰りました

好きな音楽が一緒に
盛り上がったよ

その他の例

一緒にできる
イベントの企画

大学祭に参加

オンライン講座を企画



実例紹介

ネットワークの仲間が実際に取り組んできたことを紹介します

◆大学生がサークルを立ち上げ、継続した訪問がおこなわれています

(カレッジ生・家族) 大学生が運んでくる今どきの話題は、カレッジ生も家族もとても楽しみです

(教 授) 学生たちからサークルの提案があり、意義を理解し行動する姿が頼もしいです

(大学生) カレッジ生のご家族からも温かく受け入れてもらい居心地がよかったです
聞わっていくとカレッジ生の伝えたいことがわかり、うれしかったです



◆大学と訪問カレッジの共催でイベントを開きました オンラインで参加したカレッジ生も楽しむ
ことができました オープンキャンパスで大学生と一緒に講義を受けました

(カレッジ生・家族) オンライン参加で大学の雰囲気を感じました 真剣に講義を受け、充実感
に 満ちた表情で満足そうな様子でした

(大学生) 一緒に学ぶ楽しさを共有できてうれしかったです

ケース2 社会教育施設とつながる



1 ねがい

美術館・博物館に行きたい
アートを鑑賞したい

2 相談

□美術館・博物館 総合案内 □文化施設の所管部署
＊日ごろの活動の様子を伝えましょう

3 対話

施設のアクセシビリティ情報を教えてください

訪問される方にはどのようなサポートが必要ですか

ストレッチャーを利用しています 休憩スペースがあると助かります
＊具体的に伝え対応策と一緒に考えてみましょう

訪問の日時をお知らせいただければ研修室を使うことができるかもしれません
受付でスタッフに声をかけてください

4 実施

□受付で担当のスタッフに連絡してもらおうと、すぐに対応していただきました
□ストレッチャーでの見学ルートを案内してもらい、アートを鑑賞することができました
□途中、休憩スペースを利用してもらい水分注入ができました
□エレベーターは、スタッフ同行のもと大型の運搬用を利用しました(事前に相談)

＊美術館によっては、特別展で配布した資料をホームページで見ることができます
紹介してもらおうのもいいですね

新しい「好き」
が見つかりそう

その他の例

出張講座を依頼

公民館・スポーツ施設のイベントに
参加してみよう



実例紹介

ネットワークの仲間が実際に取り組んできたことを紹介します

◆博物館や図書館の施設や展示物を撮影し、学芸員の方に解説してもらった教材動画を制作しました学
芸員の方がカレッジ生宅で「浮世絵」の講義をする機会も作りました

(カレッジ生・家族) 学芸員の解説で「浮世絵」が大好きになりました

(学芸員) 重度の障害のある方と初めて関り、解説がこれよりよいのか少し不安でしたが、熱心に聞い
てもらいカレッジ生の学ぶ意欲を感じました

◆特別支援学校を会場に出前講座を依頼し、カレッジ生は、
オンラインで参加しました

(カレッジ生・家族) 後輩たちとの学びに、先輩として張り
切って受講していました

(連携機関) オンラインを使ったハイブリット講座に、今後
の連携の可能性を感じました



ケース3 フロフェッショナルとつながる



1 ねがい

パソコンでゲームを楽しみたい

2 相談

□NPO等でICT支援機器のサポートをしている団体 □社会福祉協議会 等
＊日ごろの活動の様子を伝えましょう

3 対話

どんな支援機器を使うことができるか教えてください

カレッジ生が使ったことのある支援機器はありますか

学校時代に視線入力の実験はありますが、支援員が活用できていません
スイッチは、使っています

まずは一緒に訪問して、アセスメントを試してみましょう

4 実施

□NPOの方と同行訪問してもらい授業の様子を見てもらいました
□カレッジ生が操作できるスイッチや視線入力を使った教材の提案がありました
□時々、活用の様子を見てもらい、相談にのっていただいています

その他の例

地域に根差したプロスポーツチームを
応援しよう

オンライン音楽会を
企画してみよう

音楽・スポーツも
ライブで楽しんで
みたいなあ



実例紹介

ネットワークの仲間が実際に取り組んできたことを紹介します

◆プロのミュージシャンにカレッジ生の自宅コンサートを開いてもらいま
した オンラインで参加したカレッジ生も楽しい時間を共有しました

(カレッジ生・家族) とても楽しみにしていて、いつもより積極的に関わ
たり表現したりしていました 音楽が大好きなことを再認識 ま
た来てほしいです

(ミュージシャン) 真剣な表情と音楽を楽しむ姿にやりがいを感じました
カレッジ生の学ぶ姿勢にこちらが刺激を受けました



◆プロサッカーの試合を観戦しました

(カレッジ生・家族) 本人と家族が「共に楽しむ」可能性が広がりました

(連携機関) これからもスポーツ観戦がみんなの選択肢として当たり前
にある環境を作っていきます